

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人新生福祉会	代表者	山中 康平	法人・事業所の 特徴	『当法人は、地域に開かれ、信頼されることをめざし、お互い助け合い人間として生きること、文化的で経験豊かな老いの人生を楽しむことを徹底的に追求することに努めます』の法人理念を踏まえ、事業所では『本人の思いや願いを叶える』『馴染みの地域で暮らし続ける』支援に努めています。季節を感じる食事・飾り・行事を計画し楽しく活き活きと安心して過ごしていただけるよう柔軟な対応を心掛け、居心地の良い雰囲気のある事業所を目指しています。
事業所名	小規模多機能ホーム 楽生苑みのりの里	管理者	小倉 美香		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者の願いや希望を受け止め、実現する方法を一緒に考え、ひとりひとりのニーズに応えるケアを地域と協働で取組む。	前回は初めての取組みで十分な理解ができていなかった。	・シート作成・シート取りまとめが職員の負担にならないのか。 ・評価項目が多すぎる。みのりの里だけでなく他の事業所の評価もしなくてはいけないので大変だ。	法人理念・事業所理念を踏まえ事業所の平成29年度の目標を立て、その目標を達成する為の職員個人の目標をそれぞれ考え実施し自己評価する。
B. 事業所のしつらえ・環境	玄関インターフォンの設置。	設置済み	・閉込めなく整頓され明るい雰囲気・空間で職員もきちんと挨拶できている ・事業所や駐車場の出入り口の段差プレートが割れたり、プレートが無い所があり車の出入りが難しい。	庭に花を増やし、利用者と一緒にお世話をすることで季節を感じてもらい明るい環境作りをする。
C. 事業所と地域のかかわり	インターンシップを受け入れ地元の学生が介護職に興味を持てるようやりがいを伝える。地域公益活動を通じ地域住民の心配事・悩みを地域資源の活用も取り入れ専門職として一緒に考える。	・中学、高校生のインターンシップ受け入れ一緒にレクリエーションを楽しみ介護職のやりがいを伝えることができた。 ・地域公益活動への参加はできた。	季節毎の行事計画にボランティアを招いたり楽しそうだ。これからの活躍も期待する。	・引続きインターンシップで地元の学生が介護職に興味をもってもらえるよう受け入れる。 ・事業所に地域の園児等を招待し交流を図る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	シルバーリハビリ体操に利用者とお出向き、残存能力の維持・向上に努める。利用者が培ってきた関係を断ち切ることなく馴染みの地域サロン・行事に参加できるよう支援を行う。	シルバーリハビリ体操・地域サロン・行事に希望利用者が参加できるよう支援できた。シルバーリハビリ体操を職員が受講し日々のレクリエーションにも取り入れている。	地域行事・イベントには積極的に参加されている。	引続き地域行事、イベント等に参加し地域との交流を図り、利用者が培ってきた馴染みの関係を継続できるよう支援する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	利用者家族に介護の困りごと等のアンケート調査実施、内容に合わせた講演会・勉強会を開き事業所と家族・地域で支え合う関係作りの構築。	日々利用者・利用者家族の困りごとや悩みは傾聴しその都度対応しているが、事業所全体での勉強会を開催するまでには至らなかった。	運営推進会議で出た意見が、改善に繋がっている。	会議開催日に日程を合わせ行事を計画し、委員にも参加していただき日頃の様子を見ていただく。
F. 事業所の防災・災害対策	消防訓練を事前に近隣住民に告知し参加を募る。消火器・AEDの取扱い等地域住民にも体験できる計画を立てる。	今年度11月(1回目)では実施できなかったのが3月(2回目)の消防訓練で実施予定。	消防訓練は実施しているようだが、地域防災訓練にも参加してはどうか。	同敷地内のクリアール楽生苑と合同で消防訓練を実施し災害時等に連携体制が図れるよう計画を立てる。